



保育所だより



令和7年6月号

中部保育所

TEL 63-3221 090-5693-1233

あつという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨を迎えようとしています。日に日に暑くなり、そろそろ水遊びやどろんこ遊びが心地よく感じられるようになってきますね。所庭に泥を入れ、泥山を作りました。保護者の方には泥んこ服を用意していただき、子どもたちは遊ぶのを楽しみにしています。汚れを気にせず、保育所ならではのダイナミックな泥んこ遊び・水遊び・感触遊びが楽しめるようご協力をお願いします。

これから気温・湿度ともに高くなり、暑さに体がまだ慣れていないことから熱中症になりやすく、体調を崩してしまいがちです。十分な睡眠をとり、朝ごはんをしっかり食べて元気に過ごしましょう。



6月の行事予定

- 2日(月) 巡回相談
- 2日(月)～6日(金) 身体測定週
- 3日(火) 歯科検診
- 4日(水) 尿検査提出
- 5日(木) 弁当の日、笹の仕分け(きりん組参加)
- 6日(金) ふれあいデー節句会(※きりん・ぱんだ・うさぎ組はエプロン三角巾、マスクを持って来てください。)
- 9日(月)～23日(月) 家庭訪問
- 10日(火) あいさつ運動、安全の日(大雨について)
- 11日(水) 避難訓練(風水害)
- 11日(水) 内科健診①(りす・ことり・ひよこ組) 13:30～
- 12日(木) あいさつの日(きりん組)
- 16日(月) 内科健診②(きりん・ぱんだ・うさぎ組) 13:30～
- 18日(水) 避難訓練(火災)
- 19日(木) なかよしデー「ボディペインティング」
- 20日(金) わくわくデー海岸散策:佐香地区(きりん組参加) 集金日
- 24日(火) ◆一日保育士①、尿検査予備日
- 25日(水) 誕生会、保護者会役員会②(18:30～)
- 26日(木) わくわくデー絵手紙教室(きりん組参加)
- 26日(木) 保育所開放日
- 26日(木) クッキング:新たま・じゃがグラタン(ぱんだ組)
- 26日(木) クッキング:洋風じゃがいももち(うさぎ組)
- 27日(金) クッキング:オニオンリング、フライドポテト(きりん組)
- 27日(金) 布団持ち帰り



ひよこ組
砂を触って
みたよ!



トマトが
できたら
食べようね。

7月の主な予定

- 1日(火) ◆プール開き
 - 19日(土) ◆わいわいまつり
 - 23日(水) ◆一日保育士②
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



6月6日は節句会です。いろいろなこいのぼりができました!



<お知らせ・おねがい>



◆健診について(歯科検診:3日)(内科健診:11日・16日)
お子さんが元気で過ごせるように嘱託医に診ていただきます。保護者の方の付き添いはいりません。結果は後日お知らせします。

◆お昼寝用バスタオルの持ち出しについて

気温に応じてお昼寝にバスタオルも使用します。用意ができましたら持って来てください。(大きく記名をしてください。)

週末に持ち帰りますので、洗濯をして月曜日にお持ち出しください。もうしばらくの間、気温に合わせて掛け布団も使用します。

職員出張のお知らせ

- ▽午前の研修
- △午後からの研修
- 20日 △中堅研修(zoom)～平野
- 24日 △人材育成委員会職員研修～角
- 26日 △島根県保育協議会総会～竹内
- 27日 △平田保育会新任研修～川瀬

ご寄贈
ありがとうございます
鉢花～地域の方
淡竹～地域の方



お知らせ～西尾紀子保育士は、
今月からひよこ組を担当します。

保育目標～感触あそびを楽しもう。

水たまりや泥山の水・砂・泥に触れ、全身を使って思う存分遊びたいと思います。また、小麦粉・片栗粉・石鹸・絵の具などの身近な素材を、実際に自分の手や肌で触れる体験をし、様々な感触を味わうことができるようにします。

歯磨き指導の様子



生活目標～丁寧に歯磨きをしよう。

子どもたちの年齢に応じて、看護師が歯磨き指導を行います。大きいクラスでは、歯の模型や染め出し液を使って磨き方の指導をします。小さいクラスでは、歯磨きに関心が持てるように働きかけたり、仕上げ磨きを丁寧にしたりします。使っている歯ブラシの毛が広がっているときれいに磨けませんので、こまめな点検をお願いします。



いば組
散歩に行ってお花を見つけたよ。

うさぎ組
友だちと手をつないで散歩に行ったよ。



一緒につなごう♡

きりん組
こいのぼり揚げは、きりん組に任せてね!

わぁ! 根っこが出てきたぞ!



ぱんだ組

何だろう? 掘ってみよう。



ミニエコ講座(5月16日)

公益財団法人しまね自然と環境財団の方をお招きして、きりん組がミニエコ講座で環境について楽しく学びました。

【大型絵本 読み聞かせの様子】



子どもたちが大人になる頃には、今よりももっと暑くなっていて、外で遊べなくなるかもしれません。もったいないことをしなかったらお熱が下がるかもしれませんよ!



ペットボトルはリサイクルできるよ!

子どもたちは、「ご飯を残さず食べること」「水を出しっぱなしにしないこと」「電気をつけっぱなしにしないこと」「自分のハンカチや箸を使うこと」など、たくさんのお話を教えてもらい家の人にも伝えることができました。「地球のお熱を下げるよ」とはりきっています。



【マイバック作りの様子】

子育てエール 「心もち」に共感しよう



倉橋惣三は、「心もち」という言葉を好んで使いました。「子どもは心もちに生きている。その心もちを汲んでくれる人、その心もちに触れてくれる人だけが、子どもにとって、有り難い人、うれしい人である。(中略)その子の今の心もちにのみ、今のその子がある。」これは、『育ての心』という本の一文です。「心もち」の意味するところは「いま、ここにある」その子を、ありのまま丸ごとの姿として捉えることです。それは、子どもの心を分析的に捉えようとする心理学での「心」という言葉とは、意味を異にしています。(中略)

赤ちゃんの表情から「こうかな、ああかな」と、気持ちを探りながら毎日かわることが大切なのです。そうしていると、何となく泣きの理由が分かってくるものです。(中略)

でも、赤ちゃんにとって大事なことは、大人が自分の思いを探ってかわかってくれるということ。それが、赤ちゃん和大人のコミュニケーションを生み出します。そして結果的に、その子の「心もち」に寄り添うことにつながり、赤ちゃんは親から愛されていることを実感するのです。

※倉橋惣三～明治時代の幼児教育者

子育てを元気にすることはママ・パパ・保育者へ。大豆生田啓友 著 より一部抜粋



子どもの「泣き」がなかなかおさまらないと、「なぜ泣いているの?」とすぐに原因や理由を聞いたり、「泣かないよ」と言ったりしてしまうこともあると思います。泣くことで懸命に思いを伝えようとしている子どもたちが、「今」何を訴えようとしているのかを分かろうとすることが大事です。目の前の子どもと「こうかな? どうかかな?」とかかわり、子ども一人一人の「心もち」に寄り添ってあげたいですね。